

令和2年度GIGAスクールサポーター配置事業に係る業務委託プロポーザル審査基準表

| 審査項目 | | 審査内容 | 配点 | |
|------------|--|--|-----|----|
| 基本事項 | | 業務の受託に関する基本的な考え方 | 10 | 10 |
| 事業実施体制 | 組織・運営体制 | 運営スタッフの配置や業務管理の体制が適切であるか | 15 | 10 |
| | | 類似事業の履行実績などから、各業務の運営が円滑に行うことが見込まれるか | | 5 |
| 提案事業の内容等 | 事業計画 | ICT機器の整備計画や教員のICT活用能力の現状を踏まえて、適切なGIGAスクールサポーターの配置(又は派遣)計画を策定できるノウハウを有するか | 70 | 10 |
| | | 学校のニーズを引き出し、適切な研修等事業計画を策定できるノウハウを有するか | | 10 |
| | | GIGAスクールサポーターの配置(又は派遣)計画及び研修等事業計画に基づき、着実にGIGAスクールサポーターを運用するとともに、学校のニーズ変更やコロナウイルス感染症の感染拡大等の状況の変化に対応できる体制が整っているか | | 5 |
| | | 電話相談及びアフターフォローの体制は十分か | | 5 |
| | | GIGAスクールサポーターが行う次の1～3に関する業務内容の質と量は適切であるか | | |
| | | 1 機器設定 | | 10 |
| | | 2 教員研修 | | 10 |
| | | 3 授業支援 | | 10 |
| | 事業内容に関する独自の提案はあるか | 5 | | |
| | 実現可能性 | 提案内容、スケジュール、運営体制等から確実な実施が可能であるか | | 5 |
| 経済性(費用対効果) | 事業内容等に対して必要な経費が適切に見積もられ、県の予算の範囲内かつ費用対効果の高いものであるか | 5 | 5 | |
| 合 計 | | | 100 | |